

# インドネシアの合法性証明システムと トレーサビリティツールの開発について



一般社団法人全国木材検査・研究協会  
調査研究部 佐々木 亮

# 1. 日・イ間違法伐採対策の開始と経緯



2003年6月 インドネシア共和国と日本は、違法伐採対策のための共同宣言とアクションプランを発表



2004～2007年  
(日・インドネシア違法場再対策協力アクションプラン推進事業)(林野庁補助事業)

アクションプランに基づき、インドネシア政府・民間部門と共同で国有天然林丸太を対象にしたトレーサビリティツールのプロトタイプを開発



2008～2011年 (木材追跡システム実証事業)(林野庁補助事業)  
プロトタイプトレーサビリティツールの実用化をめざす。

2003年に東京でインドネシアの新たな林業政策と、日本の木材産業と輸入業者からの協力の重要性を演説するプラコサ林業大臣

## 2. インドネシアにおける合法木材の定義

以下の項目のすべてが、国の法律と規則のすべての条件を満たしていることが証明された場合、合法木材と位置づける。

- ✓丸太の原産地
- ✓伐採の許可、手順、手続き
- ✓木材輸送における管理、書類整備
- ✓木材の加工
- ✓木材の売買または移動



### 3 . 木材合法性保証システム

Timber Legality Assurance System : TLAS (英語名)

Standard Verifikasi Legalitas Kayu: SVLK (インドネシア語



名)

#### 1. 目的

- ✓ 林産物の合法性を保証
- ✓ 合法性をミニマムレベルとしてSFM達成
- ✓ 消費者、供給者、生産国の規則実行を通じて合法林産物を促進
- ✓ 林産物取扱に必要な法律とより良いガバナンスの適用
- ✓ CoCまたは原料供給における木材の合法性確認と民間分門の合法木材取扱の促進

#### 2. 持続可能な森林経営および合法性証明に関する基本法

林業大臣規則 2009年第38号

ライセンス所有者または森林利用ライセンス所有者に対する持続可能な生産林管理および木材合法性の証明に関する基準およびパフォーマンス評価の指針に関する林業大臣規則

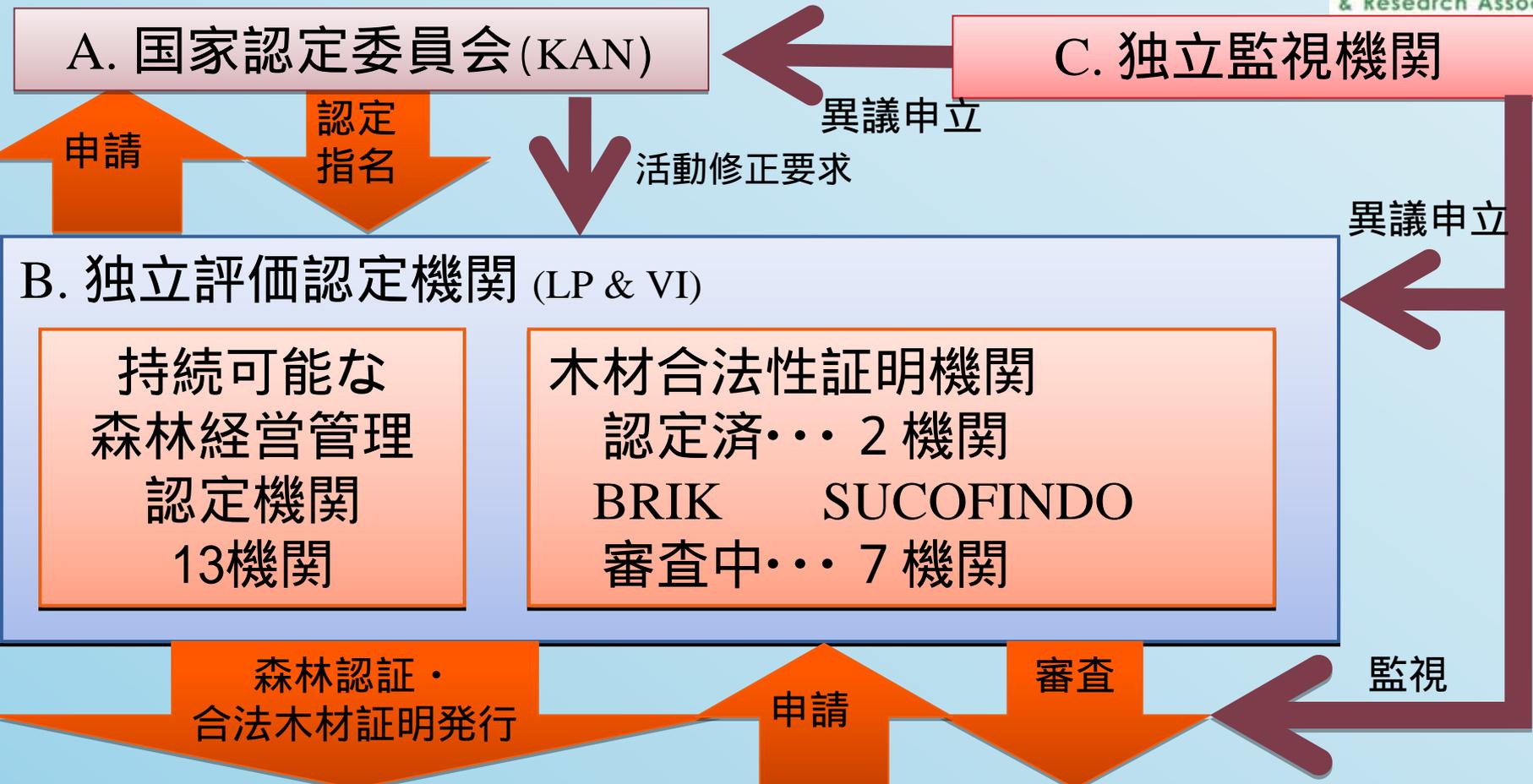
林業生産総局長令 2009年第6号

持続可能な生産林経営と木材の合法性確認における実行アセスメントのためのスタンダードとガイドラインに関する林業生産総局長令

林業生産総局長令 2010年第2号

持続可能な生産林管理および木材合法性の証明に関するパフォーマンス評価実施の指針に関する林業生産総局長令

# 4 . 木材合法性保証システムの実施体制



ライセンス所有者・私有林所有者		
国有天然林木材 利用ライセンス	人工林木材 利用ライセンス	コミュニティ人工林 木材利用ライセンス
		エコシステム回復林 木材利用ライセンス
		木材産業ライセン ス
		私有林所有者

## 5 . 持続可能な生産林経営と木材の合法性確認におけるアセスメントのためのスタンダードとガイドライン (林業生産総局長令2009年9月第6号)

以下について、スタンダードとガイドラインを設置

1. 国有林における持続可能な生産林経営のためのアセスメント
2. 国有林材の合法性確認
3. コミュニティ林、同人工林（国有林）材の合法性確認
4. 木材加工産業における木材の合法性確認
5. 私有林からの木材合法性確認
6. 木材利用ライセンス所有者のための木材合法性確認

- 木材の合法性確認のために、主に以下の事項を要求
- ✓ 公式な機関が発行した合法性確認のための書類
  - ✓ 納税証明書
  - ✓ 木材取扱のためのライセンス
  - ✓ 木材のトラッキングが可能であること等

## 6 . トレーサビリティツール開発の留意点

- ✓ すべての流通段階で合法性を確保
- ✓ 違法伐採木材の混入を防止
- ✓ 政府と消費者の合法性確認要求に応えられる機能
- ✓ 現地で購入可能な資機材の使用
- ✓ インドネシアの人材によるシステム開発
- ✓ 容易な操作性
- ✓ ヒューマンエラーを防止
- ✓ 企業活動をサポート



# 7. トレーサビリティツールで使用する 主な資機材



コンピュータ



GPS内蔵ハンディターミナル



ドキュメントプリンタ



ラベルプリンタ



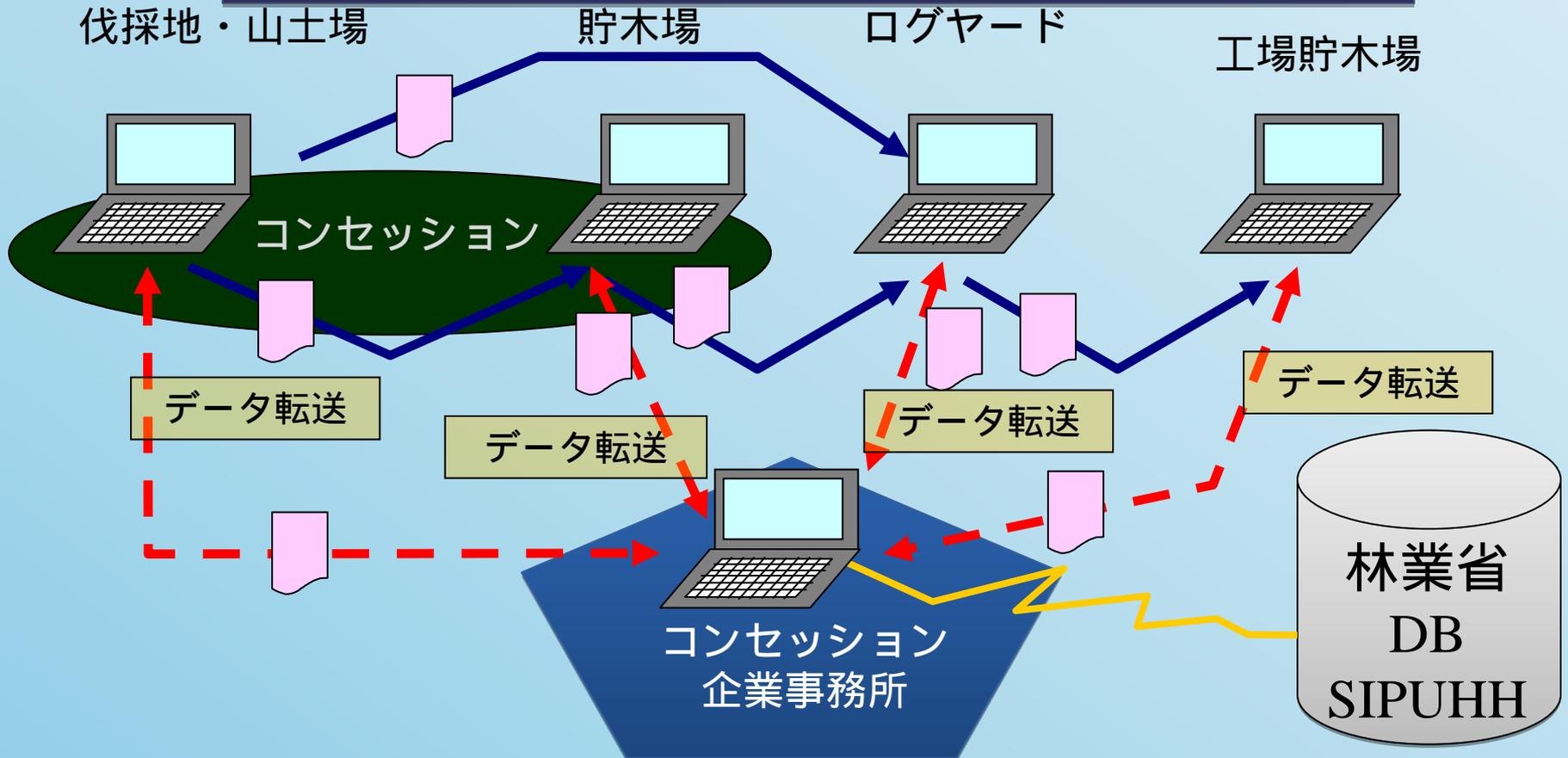
二次元バーコードラベル

# 8. デジタルデータ入力内容

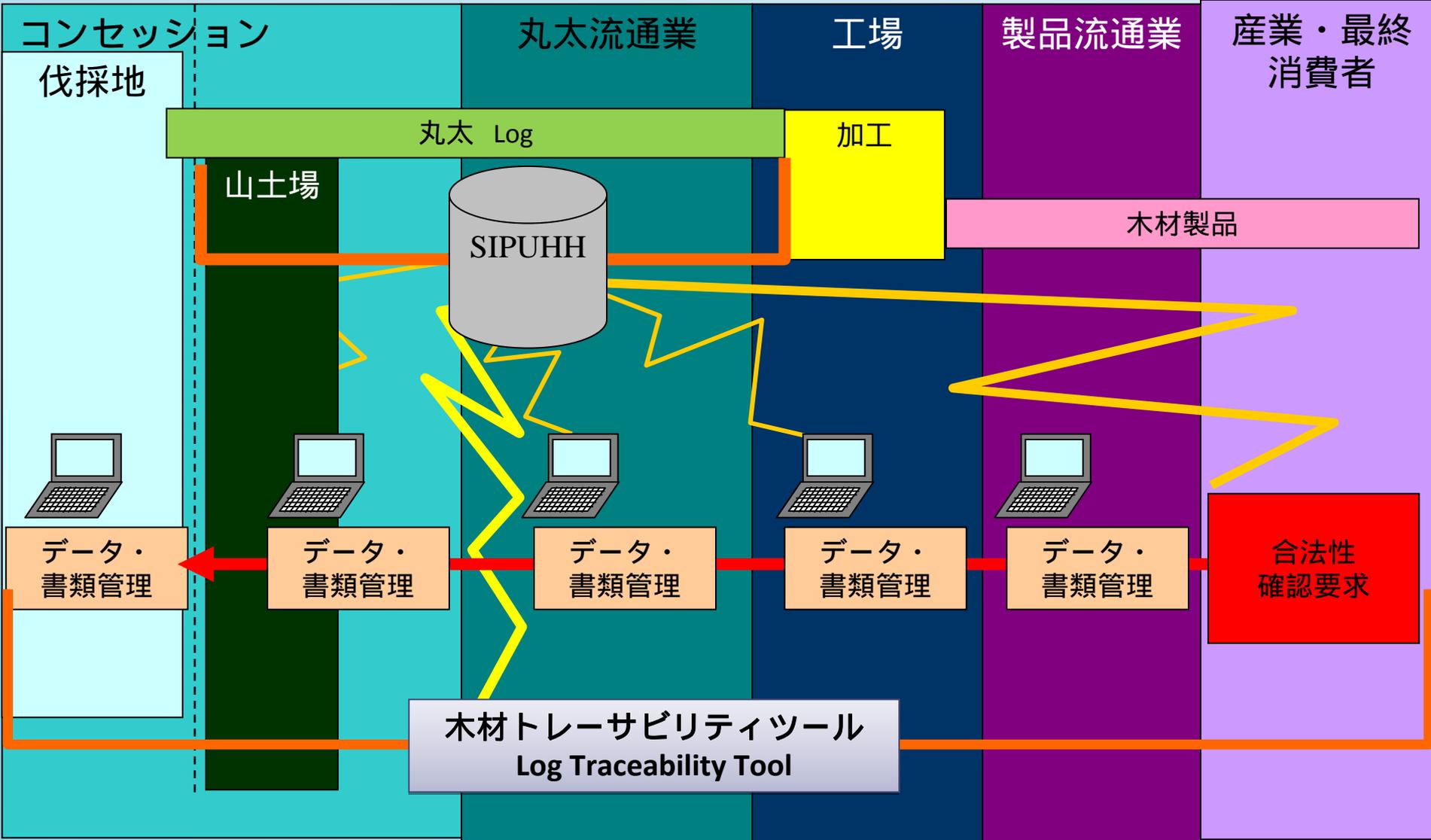
入力時点 Input Place	入力内容 Input Item	
伐採前事前準備 Preparation	伐採年月日 企業名 伐採位置 州・郡名 伐区 小班名	Logging Date Logging Company Name Logging Location District, Province, RKT Petak
伐採時 Logging Site	樹種 樹木# 緯度・経度	Specie LHC # Latitude & Longitude
山土場 TPn	寸法・材積 コンセッション企業 Receiving # SIPUHH ID	Length, Bottom, Top & Ave. Diameter & Volume Receiving # of Concession Company SIPUHH ID
コンセッション外貯木場出荷時 Shipping from TPK-Antara	流送請負業者 Receiving #	Receiving # of Rafting Company

# 9. トレーサビリティツールにおけるデータの管理方法

- データ管理されていない丸太を判別し、排除するシステム
- 丸太に貼付する二次元バーコードにデータを記載
- デジタルデータと書類によるデータ管理
- ウェブサイトに接続しなくても管理可能
- 国有天然林材管理システム(SIPUHH)に接続可能

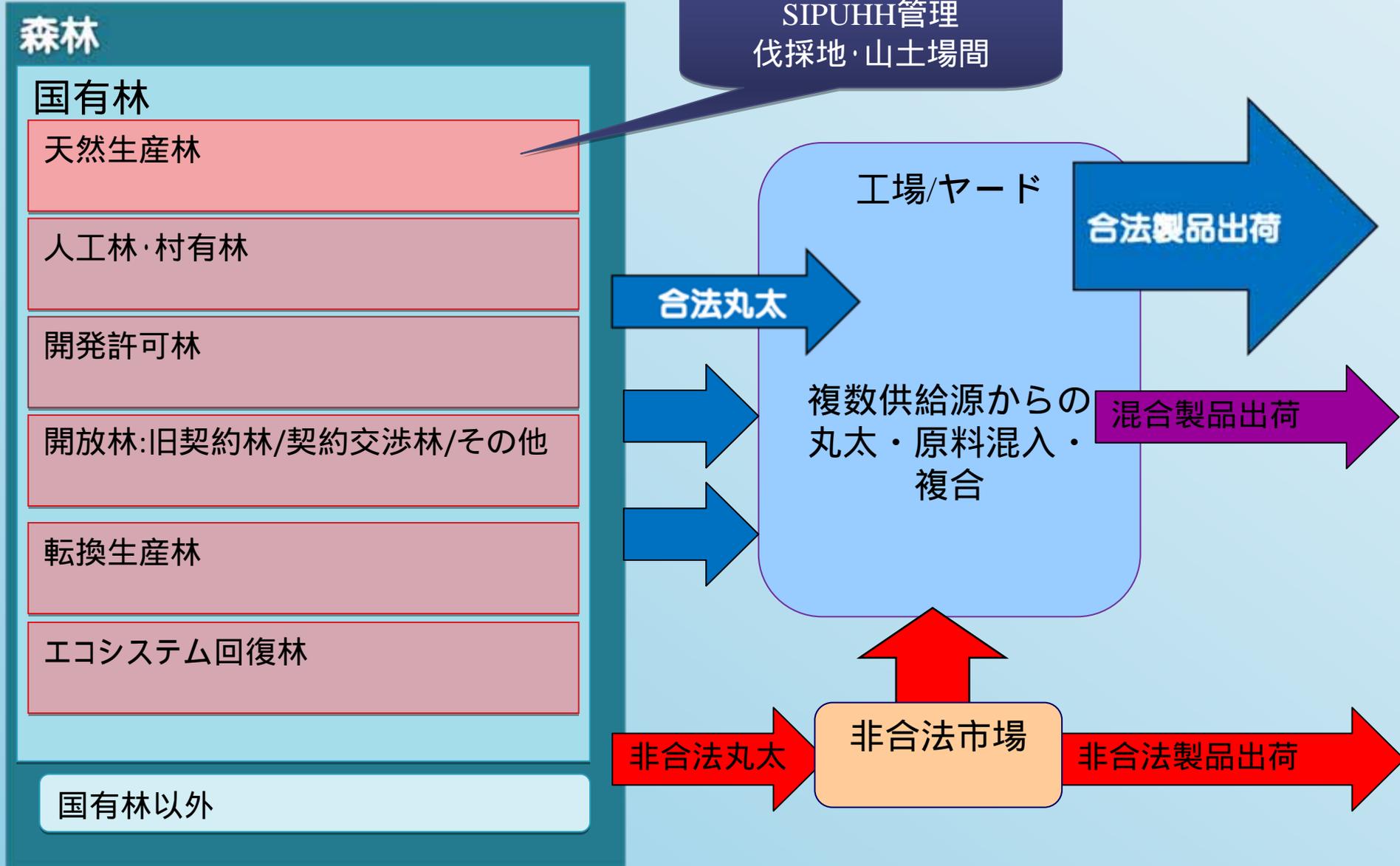


# 10. 木材トレーサビリティシステムと SIPUHH(国有天然林材管理システム)の適用範囲





# 12. 木材トレーサビリティツールの実用化



## 13. 事業成果と実用化の見通し

### 1. 事業目的の達成

- ◆ 事業目的であるトレーサビリティの技術開発は達成。
- ◆ 国有天然林材管理システム(SIPUHH)開発において、パイロット事業の役割を果たす。

### 2. 実用化の見通し

#### (1) 国有天然林コンセッション

SIPUHHがカバーしていない伐採地情報管理、伐採地・山土場間のトレーサビリティ

#### (2) 国有天然林コンセッション以外

インドネシアエコラベル協会(LEI)他の民間機関による技術の適用開始。

(3) 木材製品の具体的な合法性証明データの掲載と製品原料までのトレーサビリティ

### 3. 情報提供要請

世界銀行、マレーシアから技術情報の問い合わせあり。

ご静聴ありがとうございます

*Supported by Departmen Kehutanan*

